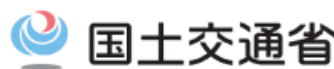


# 令和4年度 住宅市場動向調査 ～調査結果の概要(抜粋)～



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

## 調査の概要



### (1) 調査対象

令和3年度中(令和3年4月～令和4年3月)に住み替え・建て替え・リフォームを行った世帯を対象として、次に掲げる住宅の種類別に調査を行った。

	調査対象	調査地域	調査方法	調査票回収数
注文住宅	自分自身が居住する目的で建築した住宅に令和3年度に入居した方	全国	郵送調査	767
既存住宅	他の世帯が居住していた住宅を購入し、令和3年度に入居した方または入居予定の方		首都圏、中京圏、近畿圏： ※訪問留置調査  その他の地域： 郵送調査	1,016
分譲住宅	新築の建売住宅または分譲住宅を購入し、令和3年度に入居した方	首都圏 (埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)	※訪問留置調査	593
民間賃貸住宅	賃貸住宅(社宅などを除く。)に令和3年度に入居した方	中京圏 (岐阜県、愛知県、三重県)  近畿圏 (京都府、大阪府、兵庫県)		576
リフォーム住宅	令和3年度に増築、改築、模様替えなどのリフォーム工事を実施した住宅にお住まいの方			575

※訪問留置調査: 調査員が対象を訪問して対面で調査票の記入を依頼し、後日再訪問して記入済み調査票を回収する調査方法

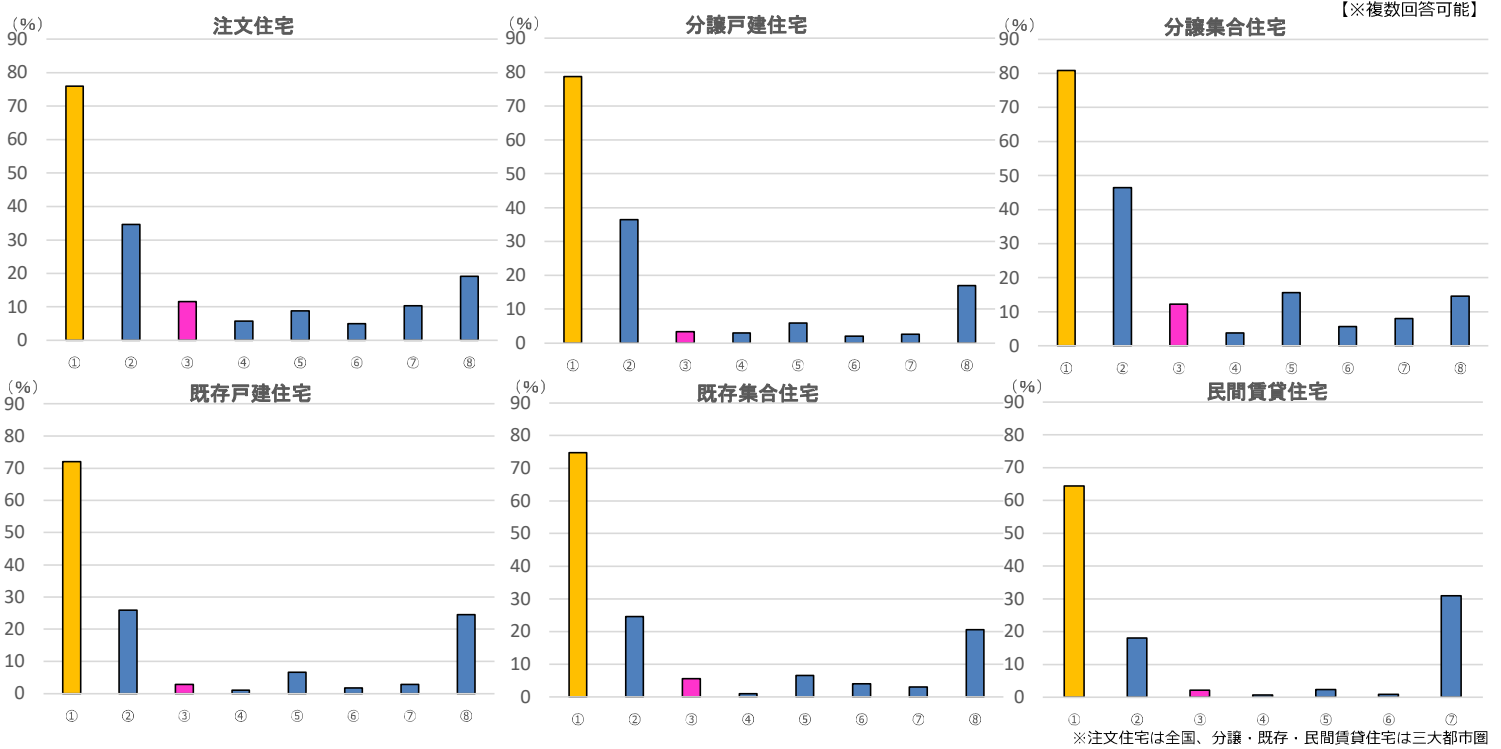
### (2) 調査項目

住み替え・建て替え前後の住宅、その住宅に居住する世帯の状況、住宅取得等の資金調達の状況等

# 【参考1】住宅取得等の過程におけるインターネット活用状況

- いずれの利用関係別においても、「情報収集」と回答した割合が最も高く、次点で「問い合わせ、説明会・内見等の申込み」と回答した割合が高い。
- 一方で、オンライン会議システムを活用した物件説明・商談は低水準にとどまっている。

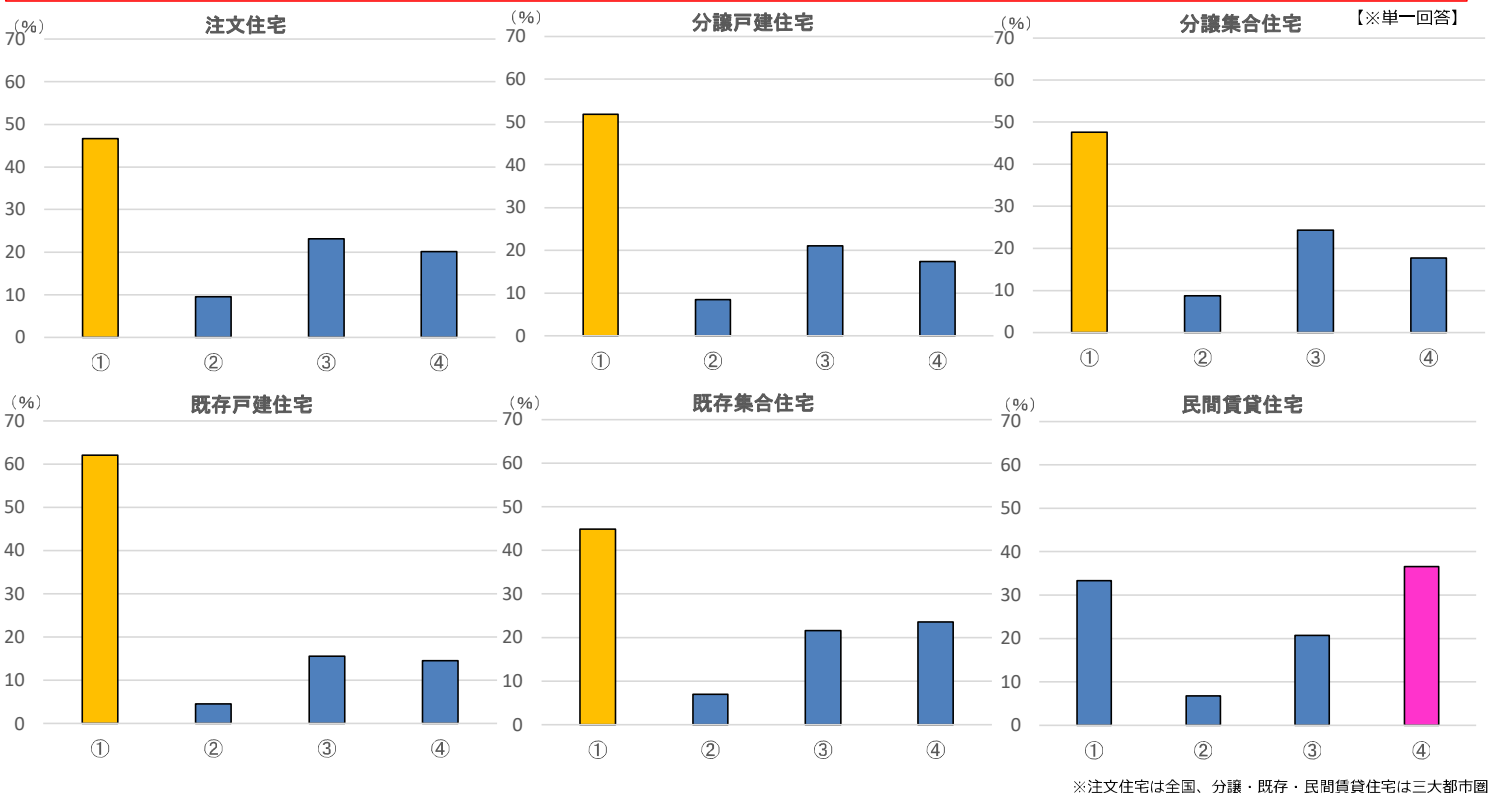
- ① インターネットを通じた情報収集
- ② インターネットを通じた問い合わせ、説明会・内見等の申込み
- ③ オンライン会議システム（ZOOM、Teams、Skype等）を活用した物件説明・商談
- ④ VR（仮想現実）またはAR（拡張現実）ツールを活用した物件内見
- ⑤ オンラインでの住宅ローン審査（※民間賃貸住宅は対象外）
- ⑥ オンラインでの重要事項説明（※民間賃貸住宅は⑤）
- ⑦ 電子署名等を活用した電子契約（※民間賃貸住宅は⑥）
- ⑧ ①～⑦の経験はない（※民間賃貸住宅は⑦、①～⑥の経験はない）



# 【参考2】在宅勤務等のためのスペースの状況

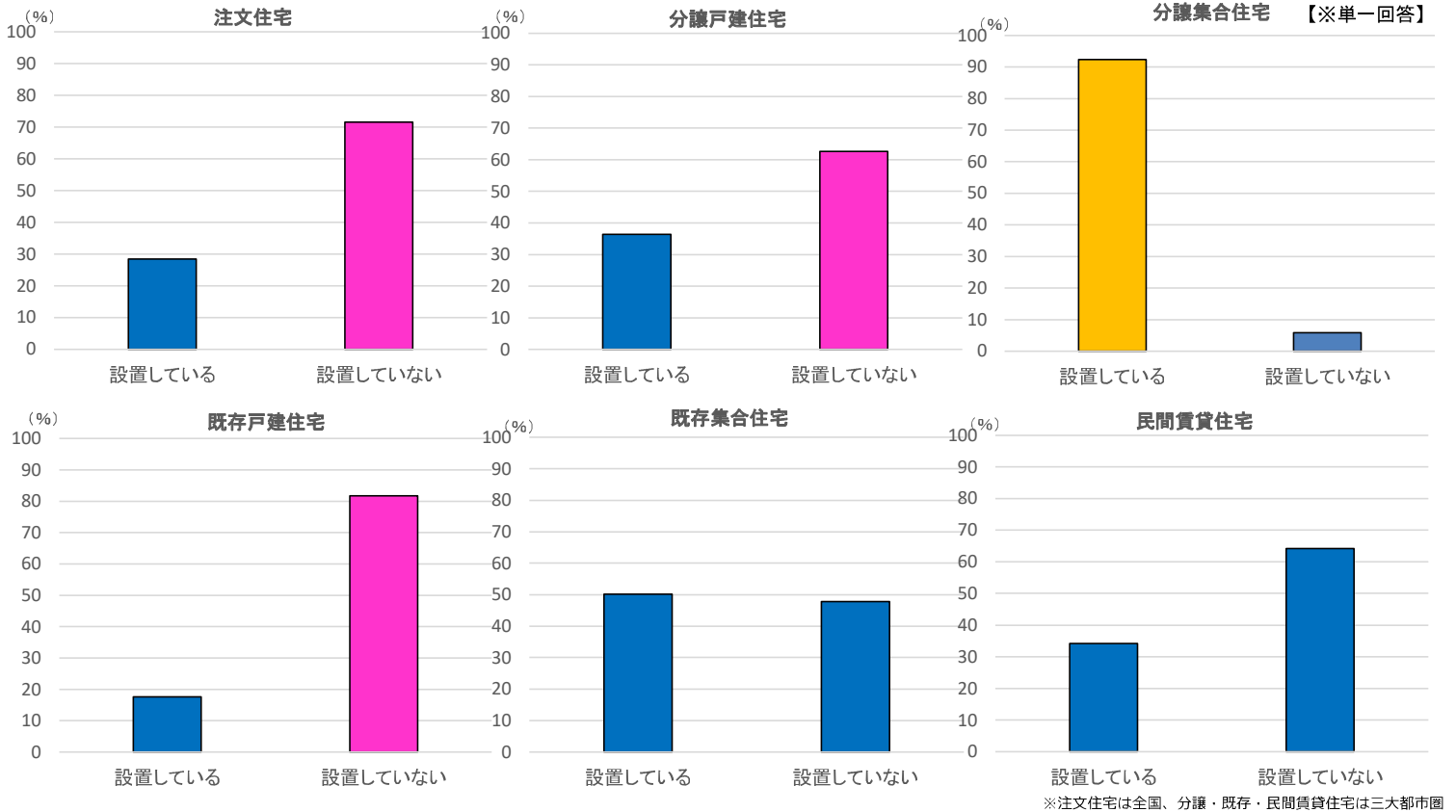
- 住宅購入世帯（注文住宅・分譲住宅・既存住宅取得世帯）では、「在宅勤務等に専念できる個室がある」と回答した割合が最も高い。
- 一方で、民間賃貸住宅入居世帯では、「在宅勤務等に専念できる個室がある」と回答した割合が最も高いが、「在宅勤務等に専念できる個室やスペースなどはない」と拮抗している。

- ① 在宅勤務等に専念できる個室がある
- ② 在宅勤務等に専念できる仕切られたスペースがある
- ③ 仕切られてはいないが在宅勤務等に専念できるスペースがある
- ④ 在宅勤務等に専念できる個室やスペースなどはない



# 【参考3】宅配ボックス設置の状況

- 分譲集合住宅では、「設置している」世帯が他の利用関係別と比べても際立って多い。
- 一方で、戸建住宅では「設置していない」世帯が多い。



# 【参考4】既存住宅にした理由(しなかった理由)

- 既存戸建て取得世帯が既存住宅にした理由として「**新築住宅にこだわらなかったから**」、**「リフォームで快適に住めると思ったから**」を選択した割合は、**前年度調査から増加**。
- 一方、分譲戸建て取得世帯が既存住宅にしなかった理由として「**新築の方が気持ちいいから**」、「**隠れた不具合が心配だったから**」を選択した割合は、**前年度調査から減少**。

